

ピカイチ先生の
生活経営セミナー

2015年05月

未来を自分の頭で考える
(② 未来を予測しない)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038

福島県南相馬市原町区日の出町167-3

info@next-life-consult.com

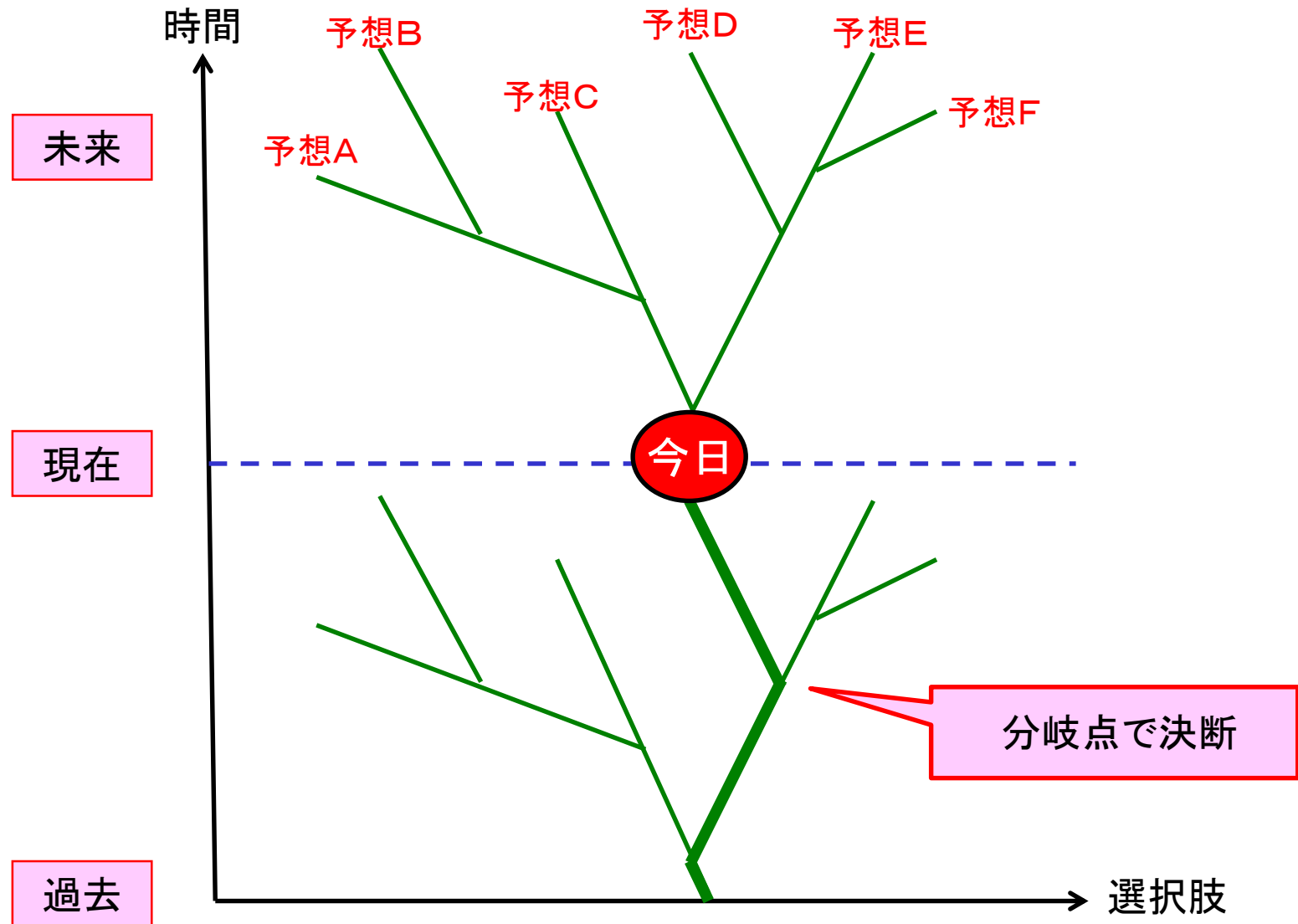


ピカイチ先生

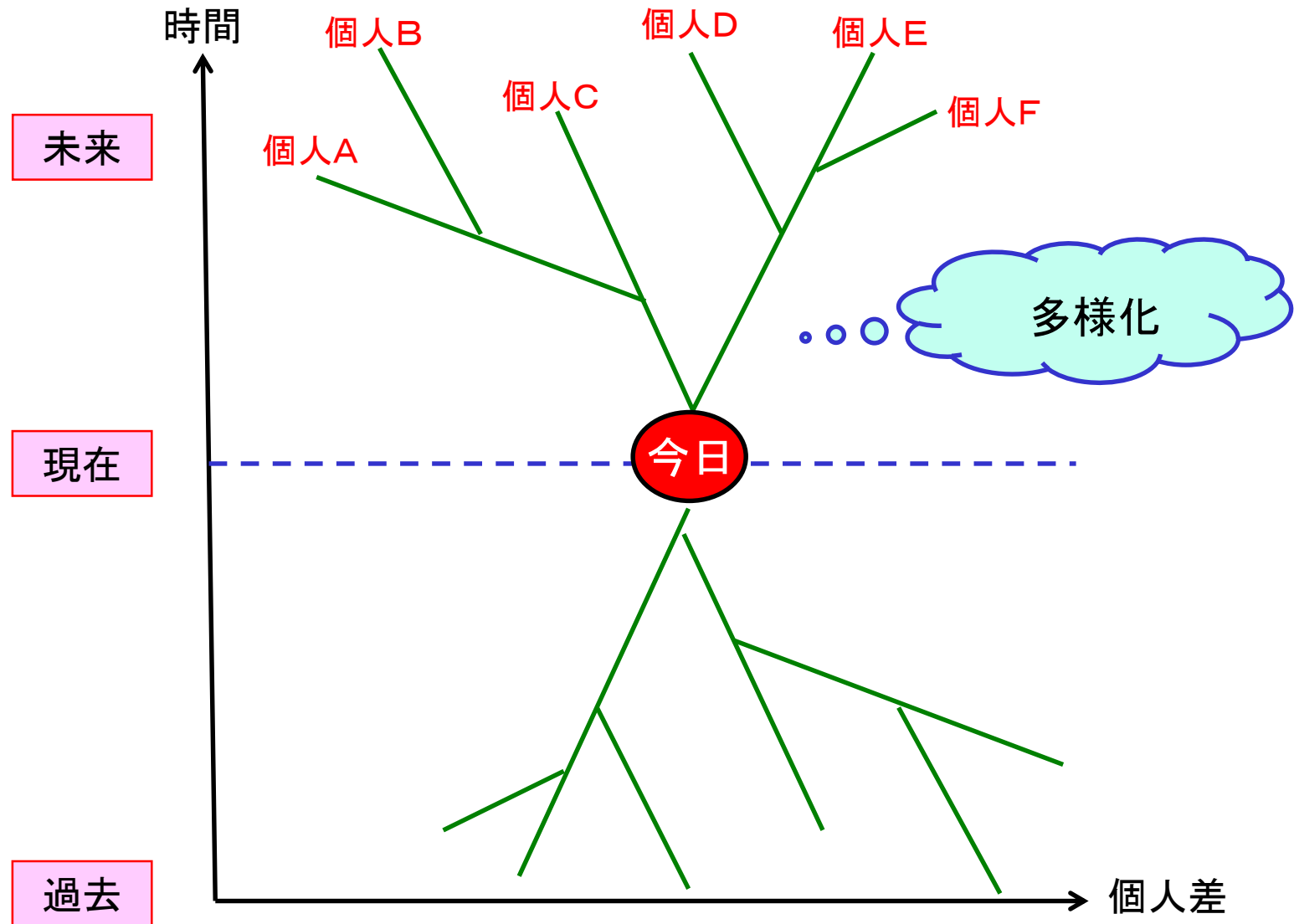
ピカイチ先生

検索

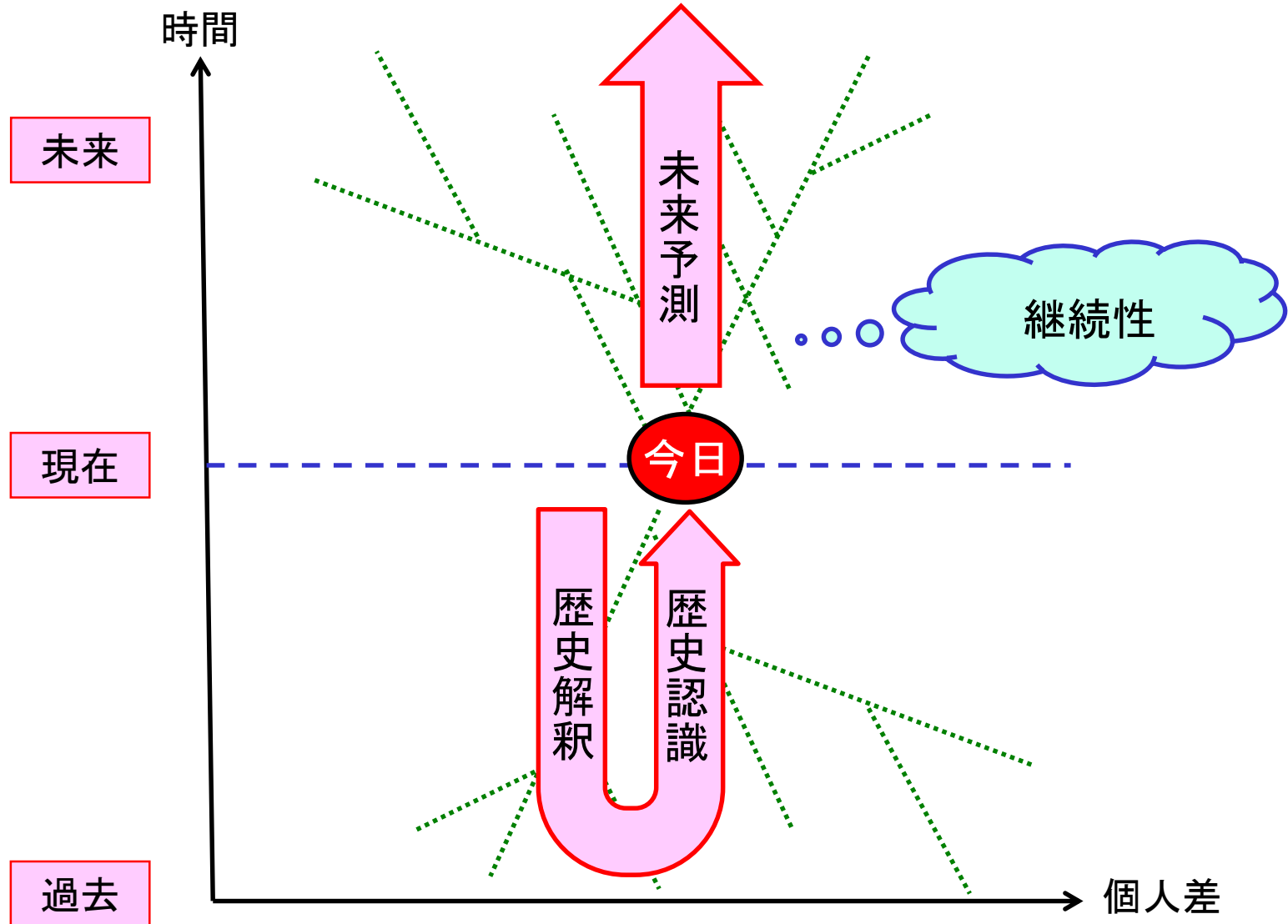
『未来』とは？（個人の場合）



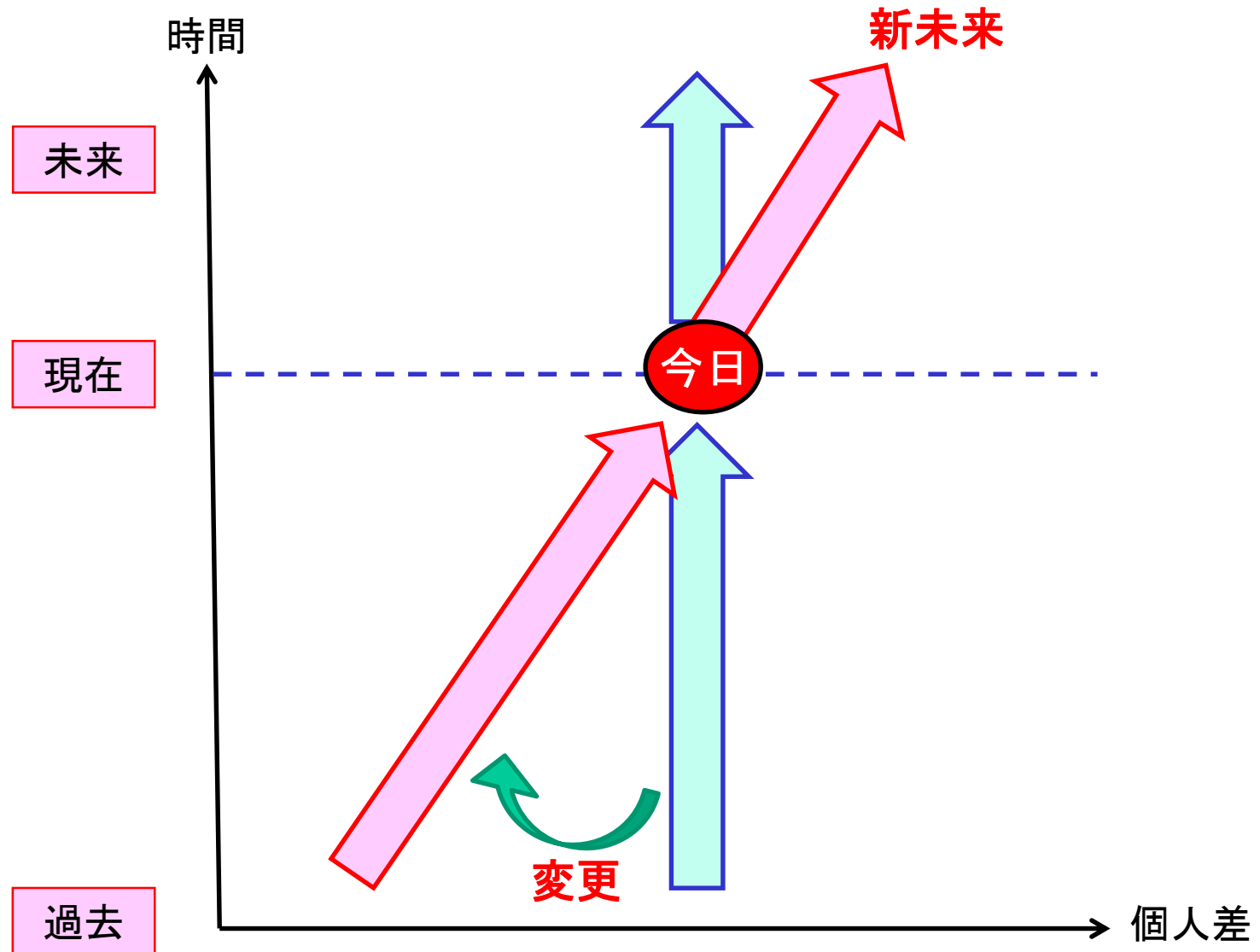
『未来』とは？（集団の場合）



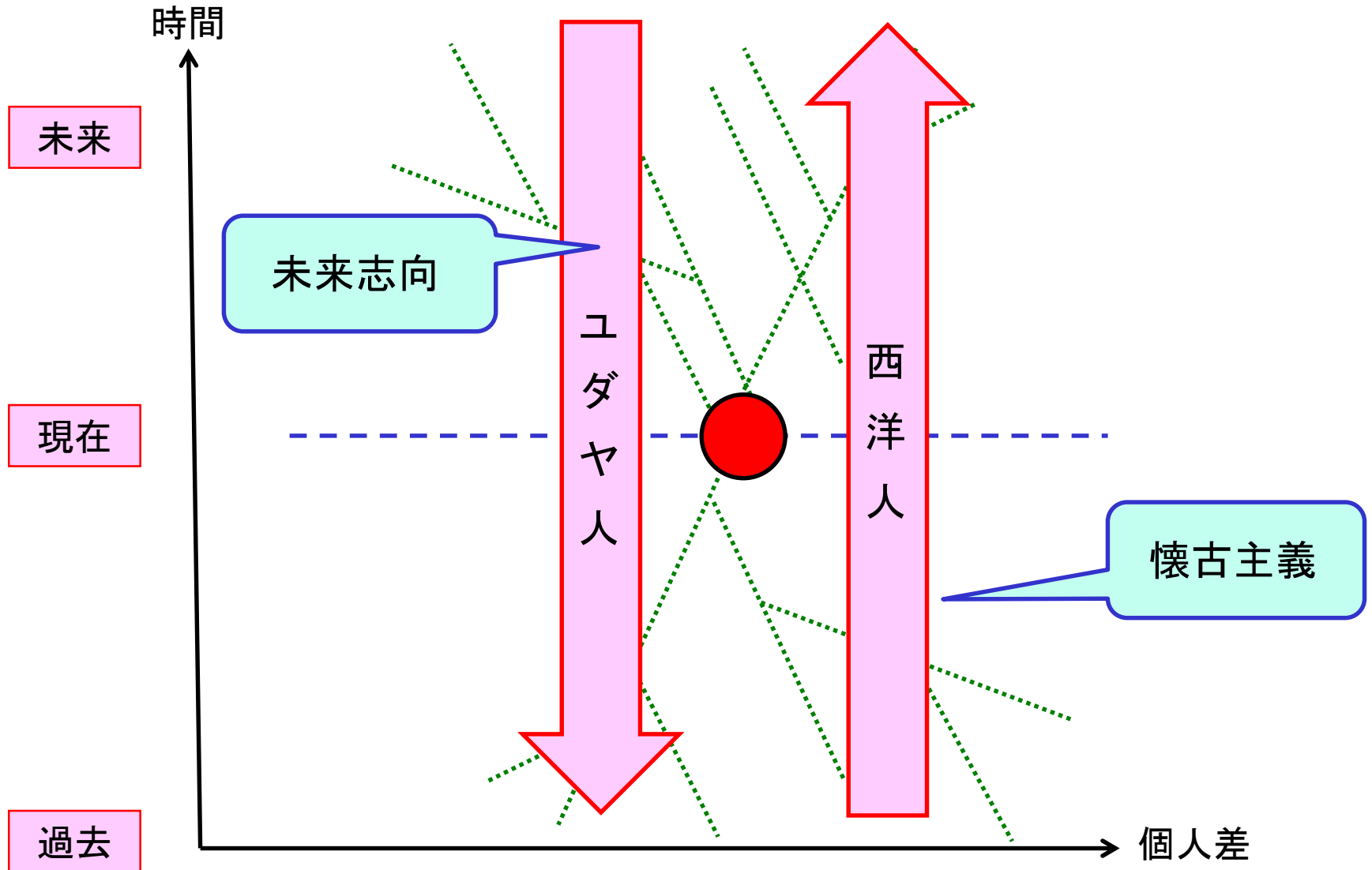
未来を予測する（統制者の戦術）



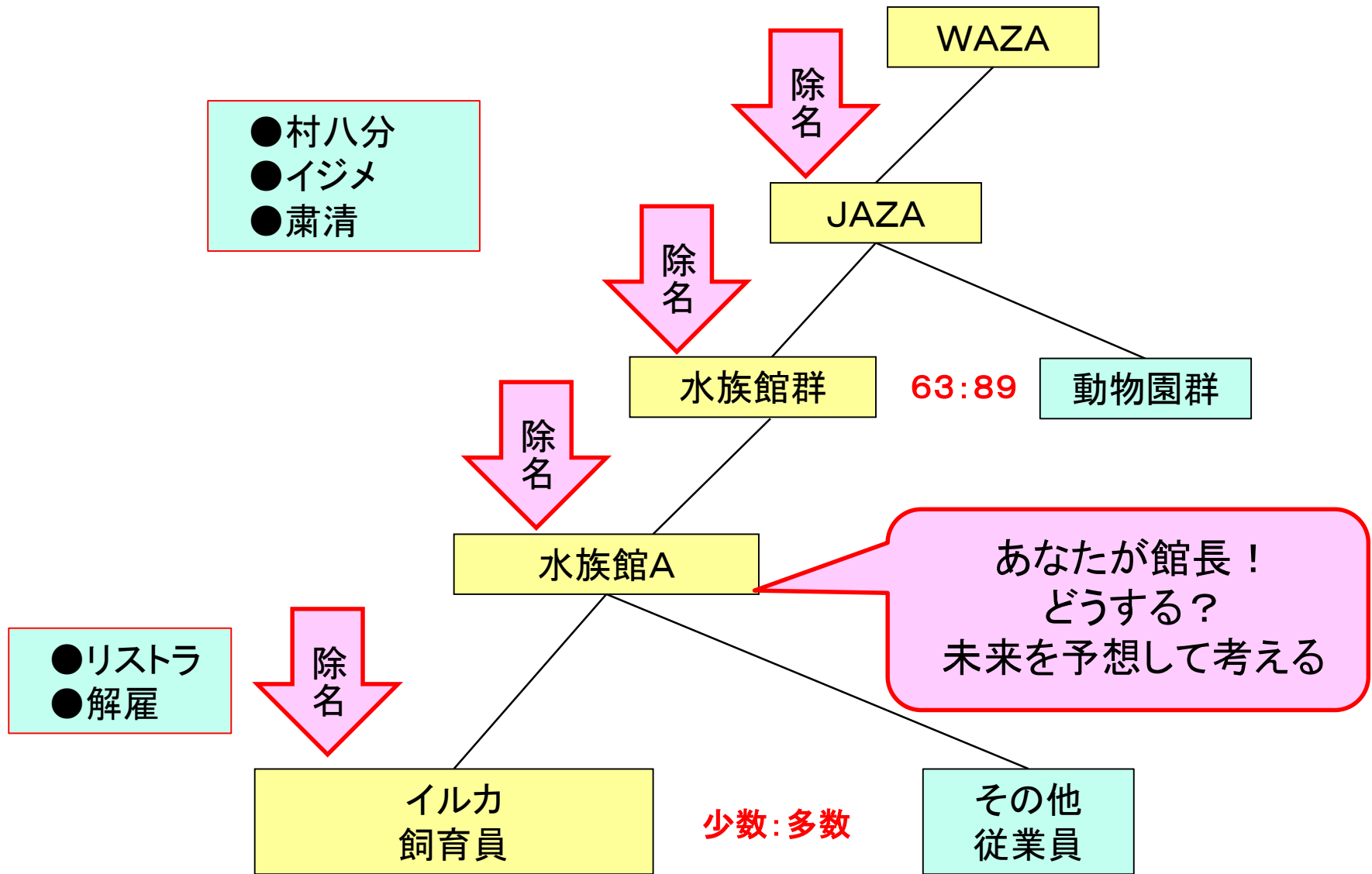
予測を変える（統制者の戦術）



時間の流れ（ユダヤ人と西洋人）



追い込み漁イルカの問題（魔女狩り）



ユダヤ人とは？（子育て）

鳥の巣が大嵐に巻き込まれ、このままでは巣もろとも三羽のヒナも地上に落下してしまう危険が迫っていた。母鳥は海を渡って安全な岸にヒナたちを避難さよと思った。

しかし大雨と強風の中、一度に三羽のヒナを運べないので、母鳥は一羽ずつ運ぶことにした。

まず、一羽のヒナをくわえて、母鳥は大雨大風の中を巣から飛び立った。海を渡っている途中で、母鳥はヒナに尋ねた。

「子どもよ、お母さんは命がけでお前を助けようとしているが、お前はその代わりに何をしてくれるのかい？」

「お母さん、こんな大嵐の中で、そんなことを考えている余裕はありません。とにかく私を安全なところに運んでくださいな」

その答えを聞いた母鳥は、そのヒナをパッと海に落としてしまった。

(次頁へつづく)

『ユダヤ人の成功哲学「タルムート」金言集』(石角莞爾著)より

ユダヤ人とは？（子育て）

母鳥は巣に戻ると、次のヒナをくわえて、嵐の中を安全な対岸へと飛び立った。そしてまた母鳥はヒナに同じことを聞いた。するとそのヒナ鳥はこう答えた。

「お母さん、まず私を安全なところに運んでください。そうすれば必ず私は毎日食物を運んで来て恩返しをしますから」

それを聞いた母鳥は、そのヒナもパッと海に落としてしまった。

母鳥は再び巣に戻ると、最後のヒナを口にくわえて、安全な対岸へと飛び立った。風雨の舞う海上を飛びながら、母鳥が同じことを聞くと、そのヒナ鳥はこう答えた。

「お母さん、私はお母さんが私にしてくれたことを、必ず私の子どもにもするつもりです」

これを聞いた母鳥は、このヒナを安全な対岸に無事に送り届けた。

『ユダヤ人の成功哲学「タルムート」金言集』（石角莞爾著）より